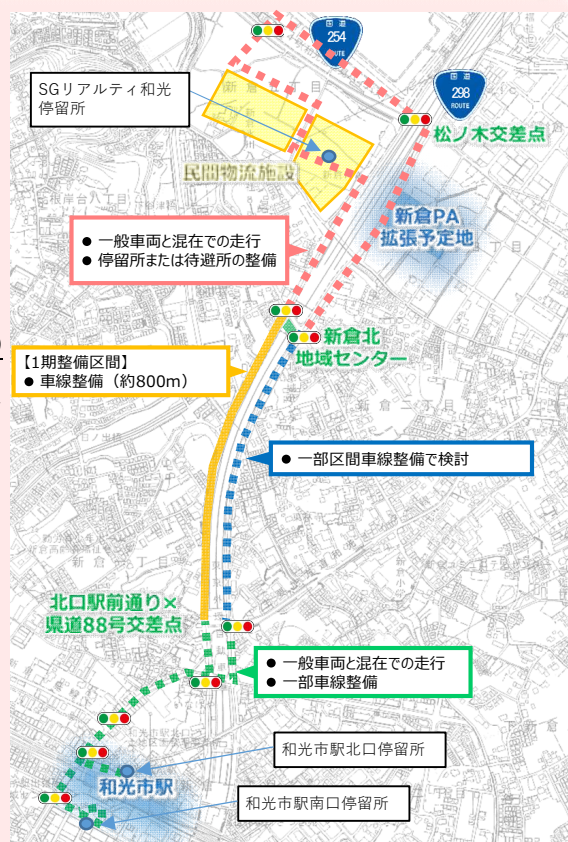


和光版MaaS構想における自動運転サービス導入検討進捗について、令和4年11月中旬に「第5回和光市未来技術地域実装協議会」を開催し、実証・実装の方向性等について議論・審議した概要を報告します。

## ■ 実証・実装の方向性について

- ルートを既存のバス路線である東武バス「SGリアルティ和光線（和光市駅北口⇔SGリアルティ発着【系統番号和14】）」のルートとして走行し、1期（令和5年度走行）は、**増設整備した車線（約800m）を自動運転走行し、その他区間は手動運転で走行**。また、2期（令和6年度走行）は全区間を自動運転で走行する。
- 1期は、「SGリアルティ和光線」の**オフピーク時間帯の1～2便を試行的に自動運転バスによる運行とする形**で走行。なお、**実証段階では既存使用の和光市駅北口のほか、和光市駅南口発着とする形**も含め調整中。
- 東武バス「SGリアルティ和光」のオフピーク時間帯は、1便/時間であることから、**自動運転バスは当初予定していた2台体制ではなく1台体制として走行する**。
- 実証・実装は、**自動運転レベル4（完全無人）の実現に向けた課題の洗い出しや検証実績の積み上げ**を目的に、**レベル2（運転手の手放し走行）での運行を行う**。



上記内容について審議し、承認いただきました

## ■ 未来技術社会実装事業の継続について

- 未来技術社会実装事業の事業期間（支援期間）は、概ね3年間、現状R2～R4年度末までとなっているが、当該事業の目標である、令和6年度末の本格社会実装まで、**引き続き現行の支援体制を維持したまま、事業推進を図る**。

### ■ 事業期間



上記内容について審議し、承認いただきました

## ■ その他協議-審議事項

実装事業における、定量的な目標指標として設定したKPI指標の進捗と、ビックデータを活用した指標の変更について審議し、承認いただきました。

令和5年度は 停留所の整備等を含むの2期区間の整備（検討中）と並行し、夏頃に『**実証（試験）走行**』の実施（2～3週間程度）と 検証後の『**実装（営業）走行**』の実施を予定しております。